



ティーンズの本棚

2025年 5月 第182号
(月1回発行)
半田市立図書館
tel 0569-23-7171
亀崎図書館
tel 0569-29-5060

今月のテーマ「友だち」

ドーナツの歩道橋 ますいじゆんこ 升井純子 / 作 ポプラ社 (T913/M)



高校一年生になったばかりの麦菜は、緊張するとお腹が痛くなる繊細さん。両親と共に祖母を介護しているので、介護についての授業でレポーターに推薦されたときに「おばあちゃんのことには恥ずかしくて知られたくない」と断りました。大好きな祖母に対して感情が揺れる麦菜を、明るい性格の友だちチャキやクラスメートが応援してくれます。

新しく入った本

ハロハロ Halo-Halo こまつあやこ / 著 講談社 (T913/J)



高校一年の のの花は、母親のすすめでオンライン英会話を始めました。講師はフィリピン人のジョシュア先生。授業がすすむうち、先生のこと、そしてフィリピンに興味をもつようになります。その後、フィリピン人の母親をもつ風羽と仲良くなり、のの花の世界はどんどん広がっていきますが…。

タイトルの「ハロハロ」はフィリピンの代表的なスイーツです。

キミの一步アメリカ 自由の女神と森とペン

こでまり 小手鞠い / 著 さかいさね 酒井以 / 絵 あかね書房 (T915/J)



20代の頃の著者は、小説家を目指して、本屋でアルバイトをしていました。そこで出会ったアメリカ人の英会話教師と渡米して30年。著者は今、町はずれに広がっている森の中で、よき理解者である彼と、幸せに暮らしています。人生の中で一步をふみだした時のこと、恩師の話などどこからでも読めるエッセイです。

「本の森 (YA図書を読む会)」のオススメ本

ブンナよ、木からおりてこい

みなかみつとむ 水上勉 / 作 新潮社 (J913/M)



カエルのブンナは木登りが大好きです。高さ約10メートルの椎の木のでっぺんに登ると、鳶がえさを貯蔵する場所を見つけます。そこで繰り広げられた、心も体も凍てつくような弱肉強食の世界を体感したブンナは、今日一日を大切に生きようと心に誓います。

「どう生きるのか」考えるきっかけになる1冊です。

YA = Young Adultの略。10代の若い人をさす言葉です。「本の森 (YA図書を読む会)」では、半田市立図書館で2か月に1回、読書会を行っています。

7類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。内容によって、0類から9類まで、10個のグループに分かれています。今月は「7類」の本を紹介しています。7類には、美術、音楽、工芸やスポーツなどに関する本があります。

浮世絵の解剖図鑑 江戸の暮らしがよく分かる

まきのけんたろう 牧野健太郎 / 著 エクスナレッジ (721/M)



浮世絵は、もとは本の挿絵が、一枚物の版画として独立したものです。美しい「名所絵」や歌舞伎の「役者絵」、勇敢な「武者絵」や、絵を読み解く「判じ絵」などが、江戸の庶民に大変喜ばれました。浮世絵を作るのは、企画、制作、販売など分業制で、いろいろな役割を担う職人がいました。この本では、浮世絵師のことはもちろん、江戸の町民の暮らしぶりもわかります。

体育がきらい さかもとたくや 坂本拓弥 / 著 筑摩書房 (T780/M)



「みんなの前で走ったり跳ったりするのが恥ずかしい」、「先生がこわい」、「そもそもスポーツがきらい」など、人によって体育がきらいな理由はいろいろあります。この本では、体育がきらいが生まれる原因を追究し、大切な体を豊かに変えてゆく「本当の体育」について考えます。



図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です。(インターネット登録が必要です) 詳しくはホームページをご覧ください。 →



半田市立図書館キャラクター
ブックんとしおりちゃん